

## 熱中症予防を踏まえたマスク着用について

梅雨の候、皆様におかれましては、益々御健勝のことと存じます。また、日頃より本校教育に対しまして、御理解、御協力をいただきありがとうございます。

さて、6月に入り、気温も高い日々が続き、熱中症が心配されます。学校の方でも、熱中症対策として、暑さ指数が高いときには、運動を中止したり、活動の時期、持続時間等に十分に注意を払ったりする等の指導をしています。特に、マスク着用については、感染防止の観点から原則として着用するようにしていますが、下記のように熱中症のリスクが高まる恐れがある場合には、マスクを外すように声をかけるなどの指導をして参ります。つきましては、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

□ マスクについては、熱中症予防と感染防止の観点から原則として着用しますが、次の場合には、屋内・屋外の活動においてマスクを着用する必要はないことを指導します。

■ 1 十分な身体的距離（2 m以上）が取れる場合

■ 2 気温・湿度や暑さ指数が高く、熱中症など健康被害が発生する恐れがある場合

■ 3 休み時間や体育の学習等の運動時

特に、呼吸が激しくなる運動を行う際や、気温・湿度や暑さ指数が高い日には、マスクを外します。

ただし、授業の前後における着替えや移動時、また授業中の話し合いの場面や用具等の準備・後片付けのときなど、運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用するようにします。

■ 4 給食時、食事中はマスクを外しますが、準備や後片付けの際はマスクを着用するようにします。

■ 5 登下校中、気温・湿度や暑さ指数が高い日は、十分な感染対策をした上で、マスクを外すよう、声かけをします。

登下校中でも、「人との距離を確保」し、「会話を控える」ことを確認します。

感染防止の観点から原則として着用するように声かけをしますが、息苦しく感じたときにはマスクを外すよう、声かけをしていきます。よろしくお願い申し上げます。